令和６年度　「特色ある学校づくり事業」実践報告

佐世保市立吉井南小学校

「○○のためにがんばろう!」

所在地：佐世保市吉井町前岳２７番地３
校　長：中村　雅男
児童数：１９１名（１０学級）

1　教育目標

「夢・あこがれをもち　笑顔あふれる吉井っ子」の育成

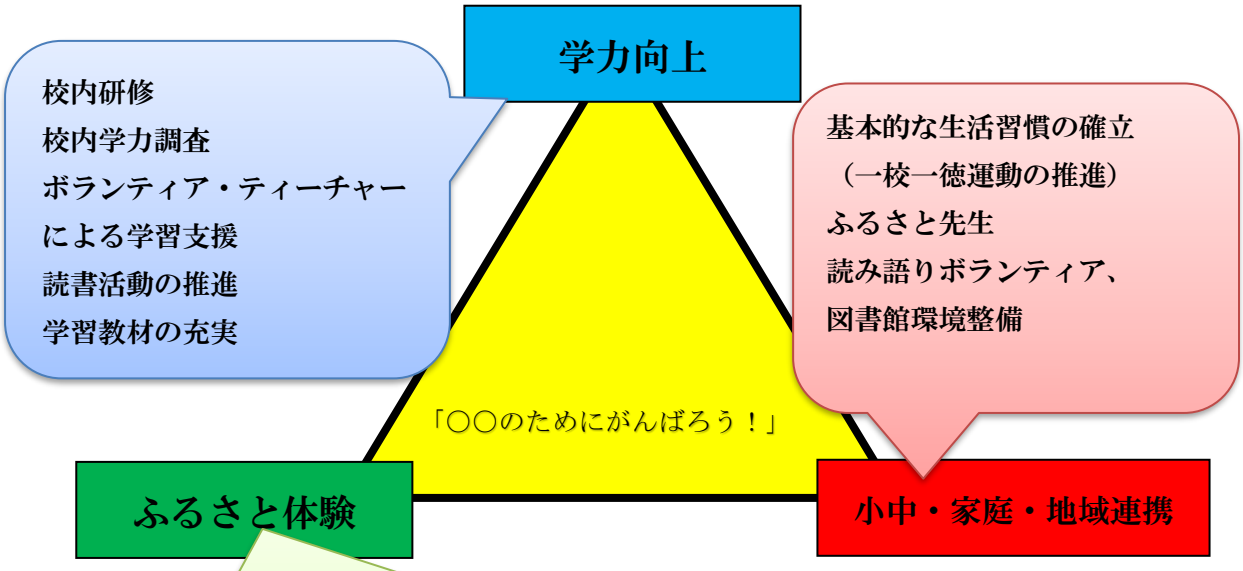
2　めざす児童像

思いやりのある子	進んで学習する子	たくましい子

3　重点目標と具現化の方策

○	人間関係力	他者を理解し、思いやりのある子どもの育成
○	考える力	目標をもち、進んで粘り強く学習に取り組む子どもの育成
○	基礎体力（耐力）	心と身体を鍛え、困難を乗り越えようとする力をもった子どもの育成

4　本校の取組の３つの柱



１年生	むかしあそびたいけん
２年生	まちたんけん
３年生	吉井町の宝　知りたい　ふれたい　ひろめたい
４年生	福祉について学ぼう
５年生	いのちをつなぐ南っ子米を育てよう
６年生	ふるさとの魅力をもっと知って伝えよう　～吉井学～

5　具体的実践

校内学力検査（考える力の育成）

○児童の伸びや課題を検証するために、学力向上の取組の一環として、校内学力検査（12 月）を全学年で実施した。教科は国語と算数で、同一集団における昨年度との比較をすることで伸びを確認したり、学級の実態を考察したりすることで、次年度に向けての方向性を明らかにした。

校内研修（考える力の育成、人間関係力）

○研究主題「自らの考えを表現し、協働的に課題を解決しようとする児童の育成　～対話活動を通して～」のもと、授業改善を進めた。子どもたちの主体的で対話による課題解決をめざして、教材研究や板書型指導案を取り入れた授業研究会を実施した。

学力向上

成果　授業改善やボランティアの活用等により、主体的に対話を通して問題解決していく姿が見られるようになってきた。少しずつではあるが、学力の向上を実感することができる。

課題　学力テスト等の結果を精査し、学力の向上のために、よりきめ細やかな指導の充実を図る。

全学年 ボランティア・ティーチャーの活用（考える力の育成）

○ボランティア・ティーチャーが来校し、算数を中心に、子どもたちの学習支援を行った。丸付けや個別のアドバイスなど、担任をサポートしながら活動した。

読書活動推進（考える力の育成）

○学校司書と図書担当職員及び図書ボランティアが連携し、読書活動の充実（環境整備、本の修理等）を図った。

○全学年で定期的に、図書ボランティアによる読み語りを行っている。子どもたちの情操を豊かにするとともに、読書の楽しさを伝えることができた。

１年生むかしあそびたいけん（人間関係力・考える力）

○地域の民生委員児童委員の方々を招聘し、昔遊びをとおした交流活動を行った。世代を超えた交流でコミュニケーション能力を養うことができた。

２年生　まちたんけん（人間関係力・考える力）

○まちたんけんを行い、地域の様々な文化遺産や公共施設などを訪れ、吉井町の様子やよさについて知ることができた。

３年生　吉井町の宝

（人間関係力・考える力）

○校区内にあるポットホール公園や御橋観音などについて、講師を招聘して、話を着たり実際に見学したりすることで、地域への愛着や関心を高めた。

ふるさと体験学習

成果　学習活動を通して、地域のことをより深く理解し、コミュニケーション能力を高めることができた。

課題　体験活動の内容を精査し、が年に応じたより質の高い学習活動の構築を目指す。

４年生　福祉について学ぼう（人間関係力・考える力）

○市社会福祉協議会と連携し、身近な福祉についての学習を進めた。車いすやアイマスク、高齢者疑似体験等を通して、身体にハンディキャップを持つ方々への理解と思いやりの心を深めることができた。

５年生 いのちをつなぐ南っ子米を育てよう

（人間関係力・考える力）

○地域で活動されている三農会の協力を得て、種蒔きから収穫までの活動をとおして、生命や食への探求活動とふるさとを愛する心を養った。

６年生 ふるさとの魅力をもっと知って伝えよう（人間関係力・考える力）

○吉井町の歴史遺構（福井洞窟等）についての調べ学習を行い、福井洞窟の魅力を伝える掲示物を作成して、CAVE フェスで掲示した。

２～６生「体育サポーター授業・福祉学習」（人間関係力・考える力）

○水泳学習では、体育サポーター事業を利用して、本校２～６年担任とのチーム・ティーチングで学習指導を行った。また、市の福祉協議会や近くの地域の文化物や史跡に詳しい方を講師に招いて学習を行い、教育効果をあげることができた。

全学年　ふるさと先生（人間関係力）

○各学年で、年間をとおして計画的に、「ふるさと先生」を導入した。生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の教育力を活用した教育活動を実践した。コミュニケーション能力を高めるとともに、ふるさと吉井を愛する心を育てることができた。

小中・家庭・地域連携

成果　活動の充実により、学校と家庭、地域が同じ目標を持って歩むことができている。

課題　本校のスローガン「凡事徹底」を継続し、「気持ちのよいあいさつ」のできる子どもを育成する。

３～６年「親子健康学習会」（人間関係力・基礎体力＜耐力＞）

○「睡眠と健康～早寝・早起き～」をテーマに、外部講師を招聘して講演会を開催した。３～６年児童及び保護者を対象に行い、「SNSの危険性、上手な利用の仕方等」について講話をしていただいた。

５年　保育園・幼稚園との交流（人間関係力）

○本校５年生が吉井町内の保育園児や幼稚園児と交流会を開催した。顔合わせ会や学校案内等、楽しく充実した会となった。

一校一徳運動（人間関係力）

○本校の一徳運動のスローガン「笑顔であいさつ　おうちで　おそとで　がっこうで」ののぼりを活用し、子どもたちや保護者、地域への啓発を行っている。